

## ますます増える世界の孤児たちに希望の人生を

孤児院に入ってくる子どもたちは、HIVに感染している孤児もおり、両親がいない子どもはもちろん、生年月日の分からない子どもや、もし孤児院に来ていなければ間違いなくもう生きてはいなかったと思える子どもたちばかりです。

現在、礎の石孤児院では、カンボジア、フィリピン、ザンビアにおいて孤児たちを受け入れ、孤児院としての働きをしております。また、日本において児童養護施設設立の支援をしていきます。私たちは、さらに多くの国々で孤児院の働きを始めていきたいと願っています。どうぞご支援をよろしくおねがい致します。

## 支援金送付先

当団体は認定NPOの認可を受けており、皆様のご寄付は「寄付金控除」の対象になります。

郵便振替	【口座番号】 00130-5-24249 【口座名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院
銀行振込口座	みずほ銀行 五反田支店 【口座番号】 普通 2069305 【口座名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院
銀行振込口座	みずほ銀行 五反田支店 【口座番号】 普通 2915961 【口座名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院 日本での孤児院設立及び支援のため
郵便振替口座	【口座番号】 00120-5-417839 【加入者名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院 日本での孤児院設立及び支援のため

## 礎の石孤児院・会員(パートナー)募集中

私たちNPO法人「礎の石孤児院」では皆様のご支援金によって各孤児院の運営が支えられており、子どもたちが養われております。定期的に支援金をもって支えてくださる会員を募集しております。

- 会費:1口500円~/月 ●お一人様、何口でも寄付できます
- 会費の納入は【一括】もしくは【分割】を選択できます

お申し込みは郵便番号・住所・氏名・電話番号・メールアドレスをお書き添えの上、下記の住所またはEメールアドレスまでお送りください。(※正会員のお申し込みをご希望の方は事務局にお問い合わせ願います)

特定非営利活動法人 礎の石孤児院東京事務局  
〒141-0031 東京都品川区西五反田1-14-1 クレインズヒル岩崎201  
TEL:03-5740-8814 FAX:03-5740-8817  
E-mail:ishizue@athena.ocn.ne.jp

礎の石孤児院WEBSITE <http://www.cornerstone.or.jp>



ご支援者からいただいたお菓子です!(カンボジア)

皆さまの尊いご支援、いつも本当にありがとうございます。

今現在日本だけではなく、世界的に流行しているコロナウイルスですが、まだ収束の兆しすら見えていない状況です。

以前は比較的安全かと思われたヨーロッパ地域が今や、流行の中心地になっている様な状況の様です。本当に一刻も早く終息を願うばかりであります。

この様な中で私ども孤児院の子供達には感染の報告が入ってないことは本当に幸いとしか言いようがありません。皆さまのご支援により、子供達が健全な生活を送る事ができてい事が大きな要因と思われ、皆さまには、本当に感謝するばかりであります。

話が、変わりますが、ザンビアではかなり大変な状況であり、暴動や停電等、社会が非常に混乱している様子で、食料もかなり不足し、あったとしてもかなり値段が高騰している様です。

このような、言わば世界的な政情不安の中、1人でも多くの子供達を助ける必要を覚えざる得ません。

ただ、その為には皆さまのご支援ご協力をお願いするばかりであります。

どうぞこれからも、皆さまのご支援ご協力、何卒よろしくお願い致します。

## カンボジア孤児院レポート

ルツ前田

チヨムリアプスワ!(こんにちは!)『礎の石孤児院』の働きの為の皆様からのご支援とご協力を、心から感謝申し上げます。

新型コロナウイルスが世界中で猛威を振っています、孤児院内でも感染予防として手洗いやうがい、マスクの使用などをスタッフ達に徹底してもらい、子ども達にも徹底出来るようにしています。こちらでも、マスクは早い段階で品切れ状態になってしまいました。現在の医療事情を考えますと、多くの方々が感染した場合の隔離や入院対応が非常に難しいのではと思われるので、病気の子も達も含まれている現在の状況の中で感染から守られるようにと祈り願うばかりです。子ども達は、それぞれの学校で前期試験が行われひと息ついたところです。学校の授業だけでは理解が難しいと思われる子ども達の為には、スケジュールを組んで子ども達がスタッフ達と共に学ぶ時を持っています。その成果をスタッフ達も楽しみにしているようです。これからも継続した孤児たちの受入れの為に、また子ども達をケアするスタッフの増員の為にも、さらに皆様のご支援を頂ければ幸いです。どうぞ、よろしくお願い致します。



今年は孤児院の庭に植えたマンゴーをたくさん収穫出来ています

## フィリピン孤児院レポート

エディー・エミア

世界的な流行を見せている新型コロナウイルスの影響により、今年度の卒業記念パーティーや進級式、卒業式など学校のお祝い行事は、感染拡大防止のため、全て延期になりました。

卒業生としてガウンを着てパレードに参加することをとても楽しみにしていた生徒たちは少しがっかりしています。

フィリピン大統領は感染拡大防止のために、各地方政府に対し、3月15日より必要に応じて市や町を封鎖する権限を与えました。

礎の石就学支援プログラムを通して、2002年から今年度迄に302名の子どもたちが学校に通うことが出来、内75名が高校を卒業しました。来年度は高校生7名、中学生15名、小学生21名、幼稚園児4名、計47名を支援する予定です。来年度も引き続き子どもたちが学校で勉強を続けることが出来るように、どうか皆様のご支援をよろしくお願い致します。



スモーキーマウンテンで就学支援を受けている子どもたち

## ザンビア孤児院レポート

シオン桜子ムタレ

ムリシャーニ(お元気ですか)?皆様の日頃のご支援に心から感謝申し上げます。先月のザンビアは、大荒れでした。儀式殺人に怒った群衆が暴動を起こしたのに端を発して、何故か時を同じくして正体不明のガスが散布され、呼吸困難に陥った人々が病院に担ぎこまれるという事態が全国のあらゆる地域で発生しました。そして、悲惨な事に、少しでも怪しまれた人達が、暴徒によって残虐に殺されてしまうという、ザンビアの宝だった平和が脅かされた1か月でした。孤児達の学校があるスラムでも同様な事が起こり、機動隊の移動や兵士達が日夜パトロールするという異様な状況になり、安全のために学校を1週間閉めるという判断をせざるを得ませんでした。幸いな事に、現在は学校も再開して、子ども達も元気な姿を見せてっていますが、平和の尊さを、改めて感じた日々でした。そして現在の難問は、主食のミルミルが、ザンビア中で不足している事と、その値段の高騰です。どこの店に行っても、棚が空、あっても3倍の値がついています。5月に今年の収穫分が出回るまで、乗り越える努力が本当に必要です。停電、暴動、そして飢餓...当分は闘いが続きます。どうぞ皆様のご更なる支援をお願い致します!



主食が空になったスーパーマーケット

## ブラジル孤児院レポート

松本弘子

皆様のご支援に感謝いたします。

現在、一時帰国中で、今日ブラジルに向かって出発する予定でしたが、航空会社の方が便がキャンセルされ、紆余曲折あって、明日に成田から出発の便に振り替えられ、羽田空港まで行って、今日は戻って来ました。日本でも色々なことが変化していているのを感じました。

今回の滞在では、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、予定されていた長野県小谷村での報告会他、全てのイベントが中止になり、パートナーの方々とお会いできなくなったことは残念

でしたが、2月初めの東京・高円寺での報告会はギリギリ持つことができました。緊急時の政府の方針に従って、どのように対応していったらいいのか、学ばされる時となりました。東京事務局に3回お伺いすることができ、木原理事にお会いできて、今までに得た情報の確認と、これからどうしたら良いか話し合う時が持てました。東京で新しくスタッフになった方々ともお会いし、お話しできて嬉しかったです。さらに皆様のご支援をどうぞよろしくお願い致します。



羽田空港にて